

ReCentrics Biotechnology Co., Ltd.とのGPCR抗体医薬の共同研究開発ならびに グローバル市場における商業化に関する契約締結のお知らせ

株式会社エヌビー健康研究所（本社：札幌市北区、代表取締役：高山 喜好 以下、「当社」）は、当社が創出したGタンパク質受容体（GPCR）に対する抗体医薬の開発、商業化のために、ReCentrics Biotechnology Co., Ltd.（本社：中国天津市、CEO：Liaoyuan HU, Ph.D. 以下、「ReCentrics社」）と共同研究開発ならびにグローバルライセンスを付与する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本契約に基づき、当社は、GPCR を標的とするモノクローナル抗体の探索、前臨床開発抗体の創出を担当します。ReCentrics 社は、治験薬製造、臨床開発、製造販売承認申請、製造、および販売を担当します。当社は、対象となる前臨床開発抗体について、ReCentrics 社に対して独占的な研究開発、製造および商業化に関する権利をグローバル市場で付与します。また当社は、契約一時金、マイルストーン、および売り上げに応じたロイヤルティを ReCentrics 社から受領する権利を有します。ReCentrics 社は、ライセンス対象となる開発抗体の治験薬製造および臨床開発、製造、および商業化に必要な経費を負担します。

本契約における最初の前臨床開発抗体は、がん治療に対して大きな可能性を秘めた GPCR を標的としたものです。さらに ReCentrics 社は、本共同研究の期間中、3 種類の未公開 GPCR を開発抗体の標的分子として指定し、当社独自の基盤技術である MoGRAA[®]を利用して、機能性抗 GPCR 抗体を取得し、導入する権利を有します。

MoGRAA[®]システムでは、独自の GPCR 発現ベクターを使用し、構造安定化した状態で GPCR 抗原を生体内（*in vivo*）で高レベルに発現させることができます。MoGRAA[®]はさまざまな GPCR の情報伝達の活性化状態を評価し、目的の機能を持つモノクローナル抗体を特定できる最先端の抗体創薬プラットフォームです。

当社の創設者兼代表取締役、高山喜好は、「この共同研究開発は、『さまざまなアンメットメディカルニーズのある疾患領域の患者様に対して革新的治療法を提供する』という当社の基本戦略と合致するものです。当社の持つ創薬プラットフォームから最大の事業価値をもたらしながら、革新的治療法をより迅速かつ効率的に患者様ならびに医療関係者の皆様に提供してまいります。」と述べています。

ReCentrics 社の創設者兼 CEO、Liaoyuan HU は、「株式会社エヌビー健康研究所が保有する独自の GPCR を標的とした抗体創出技術、ReCentrics 社の研究、医薬品開発、商業化の経験と能力、そして革新的な医薬品を患者に提供するという両社の共通のコミットメントが融合し、人々を引き付ける強固な共同研究開発の基盤を確立できると確信します。」と述べています。

ReCentrics Biotechnology Co., Ltd.について

ReCentrics 社は、新規 GPCR 抗体の探索評価、改良および開発において豊富な技術的専門知識を持つ、2021 年に新設されたバイオテクノロジー企業です。ReCentrics 社は、中国天津市で設立、上海のファーマバレー内に研究開発拠点を持ち、アムジェン、イーライリリー社などの世界的な超大手バイオテクノロジー企業から受け継いだバイオ医薬品開発の豊富な経験を持つ中核チームを擁しています。特にがん、代謝および免疫疾患分野におけるアンメットメディカルニーズに対し従来と違う付加価値の高い医薬品ソリューションを提供します。

株式会社エヌビー健康研究について

株式会社エヌビー健康研究所 (NBHL) は、呼吸器疾患、慢性炎症、COVID-19 やインフルエンザなどの重症ウイルス感染症に対する革新的な医薬品の創出、開発、商業化に特化した 2006 年創設のバイオテクノロジー企業です。NBHL は、G タンパク質共役型受容体 (GPCR) を標的とする機能的抗体の創出に関する専門知識を持ち、人々の健康に役立つ GPCR を標的とした創薬の新しい分野を開拓しています。同社の詳細については <https://nbhl.co.jp/jp/>をご覧ください。

G タンパク質共役型受容体 (GPCR) とは

生体内にある約 400 種類の GPCR は細胞膜上に存在するタンパク質グループです。細胞膜を 7 回縫うような構造をしており、さまざまな外的刺激を受け取り細胞内に伝達する受容体として働きます。近年 GPCR は様々な疾患との関連性が次々に示されています。GPCR を標的とする全新薬の世界売上高は 2020 年で 7 兆 9536 億 (全体の 12.7%)、売上品目は 113 品目 (全体の 19.0%) にのぼり、医薬品の標的として非常に重要とされています。